

会員数	94,166	(前月比) +	36
手配り	28,847	(前月比) -	107
郵送	9,091	(前月比) +	28
会員世帯数	41,105	(5/31現在) [前月比 29増]	
協同基金到達額	2,419,942,000円	(5/31現在) [前月比 8,582,000減]	
協同基金出資者数	22,669名	(5/31現在)	



発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部30円

健康友の会みみはら 第37回 総代会



40周年にふさわしい 一年になるよう取り組みを

5月25日、健康友の会みみはら第37回総代会が、代表世話人、総代、来賓、オブザーバーを含め、120人を超える出席で開催されました。

最初に建井副会長より開会の宣言。議長に大浜支部の一岩総代、和泉支部の鯛天総代を選出し、総代会が進行しました。主催者を代表して江戸

会長より「友の会の様々な活動は、引き続きコロナの影響を受けた年になりました。今年は、11月17日で健康友の会みみはらは40周年を迎えます。結成当時1000世帯だった友の会は今では4000世帯を超える組織になりました。社会を見渡すと大変な状況ですが、健康友の会みみはら



議長 左から 一岩さん、鯛天さん

40周年にふさわしい一年になるよう頑張りましょう」と挨拶しました。

来賓の挨拶の後、法人を代表して、森専務理事からは2024年度法人スローガン「①同仁会ス

②2030年の樹 ③友の会と共に安心して暮ら

る」と挨拶しました。取った運動を原点に、今

「さるまちづくり」をメインに取り組み、医療介護同時改定の大変な状況の下ではあるが、事業と運動を前進させ、たかいた対応」を大事に進めて行く」と述べられました。

篠原事務局長からの第1号議案「2023年度の総括と2024年度の方針」では、2023年度の活動について、これまでの運動の成果を確実にものにしていく事が大事。あらためて沢内村の老人医療費無料化を勝ち



安井支部 浅井さん



もず支部 古賀さん

後の運動につなげていく。そして2024年度の方針は、もつと友の会を知らせること。まちづくりの原点でもある認知症予防に力を入れること。また、友の会40周年企画を成功させることが提案されました。第2号議案では「友の会会則改定案(会員・総代会についての会則改定案)」が提案されました。

指定報告では、①もず支部「設立以来の協同基金積み立て参加者を増やしてきたことについて」の報告 ②安井支部「この1年、サークル活動に力を入れ、目標達成したことについて」の報告 ③鳳新クリニック建設の報告を受けた後、篠原事務局長より質問への答弁、指定報告の内容を深めました。



森専務理事

議案については第1号議案は全会一致で可決。第2号議案については今後時間をかけて各支部、代表世話人会議でも引き続き討議を深めていく事となり今総代会では採択しないこととなりました。今期の役員体制と総代会アピールも拍手で確認され、土井副理事長の閉会の挨拶で締めくくりました。

聴診器

今年みみはらグループの一員である社会福祉法人ひまわり会が設立50周年を迎え、5月19日に記念式典をおこなった。ひまわり会理事会メンバーの一人としてひまわり会の「来し方・行く末」に思いを馳せる日々だ。1964年に耳原病院の職場保育所「ひまわり保育所」は産声をあげた。1974年に堺で初めての産休明け保育をする認可保育園として「ひまわり保育園」が鳳の地に開園して、社会福祉法人ひまわり会の歩みが始まった▼2013年にはひまわりの家・里鳳(サービスタ付き高齢者住宅・ヘルパーステーション・居宅介護・訪問看護)、2017年に同蔵前も開設、2025年には同大仙西町に開設する予定だ▼ひまわり会の職員は地域の皆様と協力しながら、またみみはらグループ(同仁会、健康友の会みみはら、特定非営利活動法人結の会ともうず、泉州メディカ)の皆様と共に歩んできた。保育事業では子どもの全面発達を保障し、介護事業では温かくふれあいのある住まい・施設を理念として掲げてきた(ひまわり会のホームページ参照)▼私達ひまわり会は、常にこの理念・原点に立ち返り、今までもそしてこれからもひまわり会が堺の地になくてはならない施設・住まいであり続けようとして深く胸に刻んだ。(岡本裕宏)